

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |             |    |               |
|----------------|-------------|----|---------------|
| ○事業所名          | キッズの森第3 南花畑 |    |               |
| ○保護者評価実施期間     | 令和8年 1月 13日 |    | ～ 令和8年 2月 14日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)      | 18 | (回答者数) 10     |
| ○従業者評価実施期間     | 令和8年 1月 13日 |    | ～ 令和8年 2月 14日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)      | 11 | (回答者数) 11     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 2月16日  |    |               |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等   |
|---|--|--|--|
| 1 | 活動内容の創意工夫                                  | 活動内容が約1か月の間で重複することがないように、活動カレンダーを設けそこに日々の活動内容を記入している。また、活動内容自体も幅広い年齢と児童の特性に合わせ、誰でも楽しめて、かつルール性や季節ごとのイベント性を感じられるようなものを考えている。 | 活動1つ1つを『この活動を通して児童の何の成長に繋がる可能性があるか?』と考えて策定している。活動を楽しく参加することが、無意識に成長や勉強に繋がっていくように目的や活動内容を考えている。 |
| 2 | 保護者様及び関係機関との情報共有                           | 児童の細かい変化の機微があった際、それを学校や保護者様へお伝えすることでより早く児童をサポートできるようにしている。児童にとって身近な方々に聞くことでニーズの把握もでき、それをスタッフへ共有することでより児童のニーズ獲得ができるようにしている。 | 保護者様及び関係機関から、地域連携の機会を提案して頂けることがある。現在頂いたご意見や機会を少しずつ取り入れ、新たな取り組みを目指している。                         |
| 3 | 幅広いスタッフ層                                   | 比較的若いスタッフから長年に渡りキッズの森に努めて下さっているベテランスタッフまで、幅広い層のスタッフが児童の支援に携わって下さっている。それぞれの客観的視点を持ち寄り、様々な視点から児童に関わることができる。                  | この環境を活かし、立場関係なく意見交換を行い、そこで出た意見を支援に取り入れている。   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 前任管理者と比べ、外出回数が減少している。                      | 管理者の交代により、外出に関する考え方に変化があり、前任管理者の時よりも外出の回数が減っている。現在は外出時のリスク(怪我・事故など)を考慮し、安全面が確実でなければ外出に踏み切れていないため、児童の外出による経験を得る機会が減少してしまっている。 | リスク管理や安全面の考慮なども当然大事な事柄だが、慎重になりすぎて児童の貴重な外出経験の場を減少させてしまうのも良くないと判断し、どのように安全面を確保したうえで外出回数を増やせるか模索する。外出を2度に分ける・専門知識を持つスタッフに全体管理を任せる・外出時のリスクマネジメントロールプレイをする…など工夫して外出回数を増やす。 |
| 2 | トラブルに関する事前の準備や研修・スタッフ意識の強化                 | 災害や感染症など、昨今注視されている事柄への対策内容や、スタッフへの意識改革が他キッズの森施設と比べ薄れている。再び感染症発生時の対策マニュアルや、避難訓練などの機会を増やし、施設全体のトラブル対応への意識を高めていく。               | 可能であれば、消防に避難訓練や救急救命講習などをお願いし、参加してみる。専門的知識を持った機関など(医療機関やリハビリ師)と連携し、感染症対応への練習をしていく。   |
| 3 |  |  |   |